

サービス

- 定時ガイドツアー(中国語)は毎週土曜日午後2時から3時半まで実施しております。事前の申込は不要ですので、ご自由にご参加ください。
- 団体向けガイドツアー(中国語・英語)は15名様以上、100名様までの団体を対象としております。参観予定日の二週間前に電話またはホームページからお申し込み下さい。
- 対応展示品のQRコードを読み取ることで、お手持ちのスマートフォンを音声ガイド(中国語・英語)としてご利用いただけます(ヘッドホンをご使用ください)。
- 一階と二階にマルチメディアガイドシステム(中国語・英語・日本語)が設置されています。
- 無料Wi-Fiを提供しております。
- お体の不自由な方はカウンターでサポートをお申し込み下さい。

注意事項

- 展示物の保護のため、展示室の室温は20度前後に設定しておりますので、ご来館の際には上着をご持参される事をお勧めします。
- 撮影時のフラッシュの使用はご遠慮ください(206室台湾考古は撮影禁止です)。
- 取材・報道用撮影は事前に撮影申請を行って下さい。
- 館内での喫煙、飲食はご遠慮ください。
- ペット(補助犬以外)を連れての入館はご遠慮ください。
- 大きな荷物、長い傘や濡れた雨具、危険物を持ち込まないで下さい。
- 館内では走ったり、ふざけたり、ガラスを叩くなどの危険な行為はご遠慮ください。
- 携帯電話をマナーモードにお切替ください。
- 参観者が多い時には、入場制限になることもあります。
- 緊急の場合は係員の指示に従って順次移動して下さい。

公共交通案内

- バス: 205・270・306・620・645副・小1・小12・藍25系統「胡適公園」下車、徒歩約2分。
- MRT: 板南線・文湖線「南港展覽館駅」下車、5番出口でバス205・306・620・645副・小1・小12に乗り換え。
- 鉄道または台湾高速鉄道: 「南港駅」下車— 忠孝東路口でバス270・藍25に乗り換え。 南港路口でバス306に乗り換え。 市民大道口でバス小12に乗り換え。



甲骨区

甲骨文字は商代に占いに使われていた獣骨や亀甲に、その結果を刀で刻して記録した文字です。甲骨文字にはどんなことが記されていたのでしょうか？商代の王はなぜ甲骨文字で占ったのでしょうか？このように占う方法はいつから始まったのでしょうか？



ろくとうこくじ
鹿頭刻辞

西周(紀元前11世紀半ば—前771年)

周王朝が殷商王朝を滅ぼして以後、殷の人の根拠地には周の封土—衛国が建てられ、殷の遺民を鎮圧しました。この古代の侯国の埋蔵遺跡から、どのような遺物が出現したのでしょうか？西周時代の「戦車」はどんな様子をしていたのでしょうか？商代の馬車に対し、西周の馬車はどんな特色があったのでしょうか？



じゅうめんこうしよく
獸面甲飾

東周(紀元前771—前221年)

周の平王が東遷(東に都を遷す)し、中国の歴史は東周の時代に入りました。歴史文献の記載ではこの時代は、「礼崩楽壊」と呼ばれています。東周の出土遺物の中から、どの程度「礼崩楽壊」の特徴を読み取ることができるのでしょうか？



すいりくこうせんもんかん
水陸攻戦文鑑

1F 考古空間



龍山文化(紀元前2600—前2000年)

龍山文化の発見は中国先史時代の歴史研究を書き換えました。この文化遺産の名称の由来は何でしょうか？また、この時代の最も代表的な文物は何でしょうか？



らんかくこくとうこうへいはい
卵殻黒陶高柄杯

殷墟(紀元前14世紀後半—前11世紀半ば)

「殷墟」は河南省安陽県に位置する、商代後期の都です。三千年以上も昔、商の時代にこれほど進んだ工芸技術があったと想像できますか？「殷墟」の遺跡の発掘は、どのような歴史的な意義をもつのでしょうか？



ぎゅうほうてい
牛方鼎



日本語



「歴史」というものは本の中からしか見つけられないものなのでしょうか？「考古学作業」と「骨董品漁り」の違いは何でしょう？

中央研究院歴史語言研究所は1928年に設立されて以来、ずっと実証によって真実を求めるという科学的な精神を維持してきました。このため、初代所長傅斯年氏は、同僚に小さな書齋から外へとび出して―「上は碧落を極め、下は黄泉の底まで、手足を動かして文物を探す」ということを求めました。これらの「碧落と黄泉」からの材料は又、歴史の理解と解釈に、どのように貢献しうのでしょうか？

本研究所の先輩研究員たちは学術の研究のため、書齋の外でたくさんの貴重な歴史文物を掘り出して搜集しました。その具体的な研究成果は現在、文物の来歴についての詳しい記録とともに、歴史文物陳列館に展示されています。

一般の博物館の所蔵品と異なり、本館の所蔵品は文物自身の歴史的な文化と考古学的な価値があるだけでなく、1920年代後半以来の、本研究所と近代中国学術史の発展との関係を物語っています。

本館の沿革と使命

1933年 傅斯年氏は南京で中央博物院準備所を設立しました。この準備所は学術研究の成果を展示する場所であるばかりでなく、同時に民衆を教育し、科学と文化の発展を促進する使命を負うものでした。

1958年 本研究所の考古館が落成しました。本研究所の考古の出土品は考古出土品陳列室で展示されました。

1986年 歴史文物陳列館が正式に使用され始めました。一、二階が展覧室となり、初めて博物館的な規模が具わりました。

1997年 本研究所は歴史文物陳列館を修理、整備しました。本研究所は展示のテーマと内容をあらたに見直したほかに、博物館の専門化をめざして、出土品の保護や文物の保存や展覧と教育の広布などに努める人材を結集するべく努力しました。

2002年 歴史文物陳列館がリニューアルオープンしました。本館は研究機関と民間人が交流するための橋渡しとして、博物館教育の責任を果たし、中央博物院の設立精神を再現することを期待されています。

203 内閣大庫档案

このエリアでは清代の内閣大庫档案(文書)の一部が展示されています。購入当時から現在にいたるまで、歴史語言研究所がこれらの明清時代の文書を保存することに尽力してきたことの意味はどこにあるのでしょうか？これらの文書には一体何が記録されているのでしょうか？政治制度のどのような変革を反映するのでしょうか？



ぶん でん し しょう きん ぼう
文 殿 試 小 金 榜

202 珍藏図書

このエリアでは本研究所が珍藏する稀観本、版元の異なる古書、定期刊行物、俗文学曲本、及び有名な作家の手稿とメモが展示されています。「稀観本」とは何かご存知ですか？同じ本の異なる版元は、研究者にとってどのような意味をもつのでしょうか？



せい せん こ こん めいけんそう わ し りん こ う き
精 選 古 今 名 賢 叢 話 詩 林 広 記

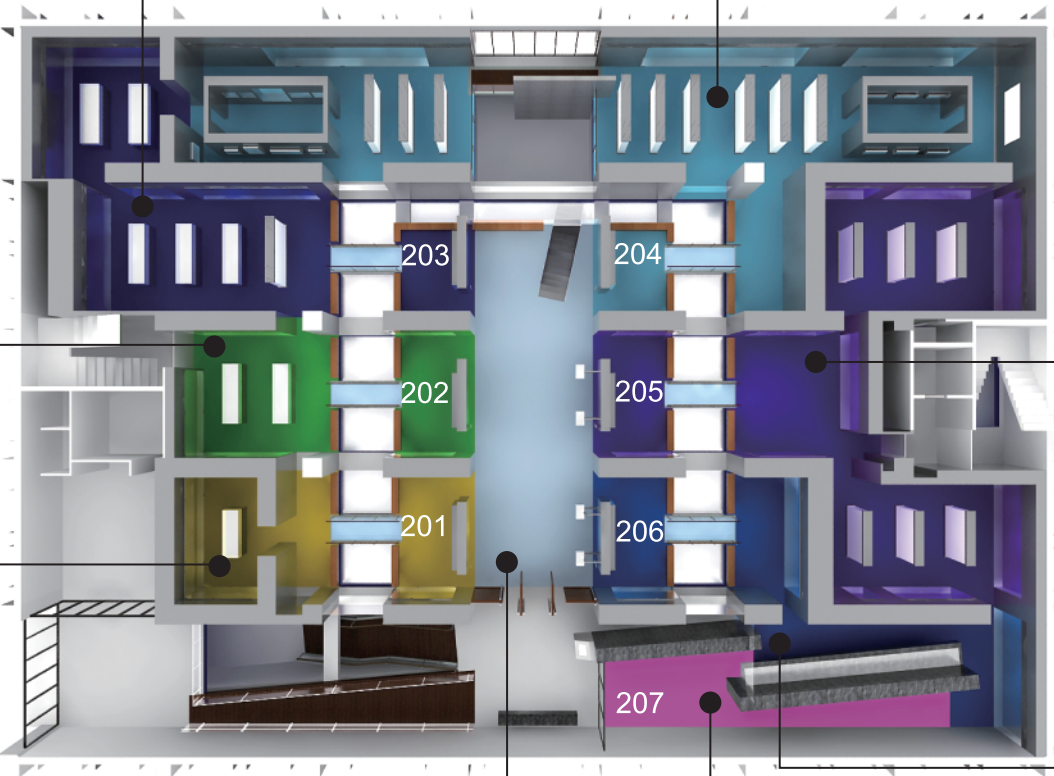
201 居延漢簡

居延漢簡とは、漢代の辺境地域にあった要塞の遺跡から出てきた、木製の記録用札に書かれた文書のことで、漢代の辺境地域の軍事、生活と文化を伝える貴重なものです。これらはいつ、どのように発見されたのでしょうか？これらの漢簡資料から、漢代についてどのような認識が得られたのでしょうか？



こう ち なん ぶ えいげん ご ねんからしちねんかんへいふ がいげつげん ぽ おびし し ぽ
広 地 南 部 永 元 五 年 至 七 年 官 兵 釜 磬 月 言 簿 及 四 時 簿

2F 歴史空間



新学術区

現代的な学術型の博物館として、本館は「新しい学術」の概念を中心に、展示品を通じ本研究所が設立されて以来構築しつづけている知識システムについて説明するとともに、新しい材料、新しい工具と研究の多元化を重視する本研究所の伝統もあわせて紹介します。

207 特展区

204 中国西南民族

本研究所の研究員は厳しい戦争の歳月の中、中国のはるか西南部で調査を行い、たくさんの写真と当時の特色に富む貴重な文物を持ち帰ってきました。当地の文化の特色がそれらの写真や文物の中に見えますか？



だ こう だ ぼ
儼 公 ・ 儼 母

205 豊碑拓本

「拓片(拓本)」は撮影や印刷技術が発明される以前、中国人が文字や図柄をコピーするために使っていた古い方法です。青銅器の全形拓、画像石、仏教造像、唐宋の墓誌などが拓本で後世に伝わってきました。拓本はどのようにしてつくられるのでしょうか？拓本は歴史の研究においてどのような役割を果たすのでしょうか？



しちじょ い ふ ほうきゆう ず
七 女 為 父 報 仇 図

206 台湾考古

台湾の考古学研究が1896年に始まってから、100年以上もの年月が経ちました。その間、本研究所は1949年に台湾へ移ってきて、中原考古学の研究者と学術の伝統も台湾へもたらされました。現在、本研究所の考古学研究は台湾の歴史と文化を主要テーマとして台湾各地で考古遺跡の調査と発掘に携わり、同時に科学的方法によって時空軸を決め、種族関係、社会発展状況、生態適応状況や、集落の形態、相互交易などについても探求してきました。近年では、考古遺産の緊急調査や保護、社会教育活動にも力を尽くしています。



がた ま せい せき ふ
バツ形磨製石斧

材料があれば問題が生ずる。
その問題に基づいて傍証と参考資料を求めよ。
この傍証・参考資料を基礎に、
この問題に正当な位置付けをせよ。
仮説であるのに結論とするな。
欠漏を隠して彌縫するな。
これがすなわち、客観知識を求める態度である。

中央研究院初代院長 蔡元培 1929年

開館時間：毎週水曜日、土曜日と日曜日、午前9時半から午後4時半まで。
選挙日、祝休日と連休中は休館とします。

参観料：無料
住所：台北市11529南港区研究院路二段130号
電話：+886-2-2652-3180
FAX：+886-2-2786-8834
ホームページ：museum.ihp.sinica.edu.tw
E-mail：museum@asihp.net